

新潟県阿賀野市における二酸化炭素（CO₂）を用いた 原油回収促進技術（EOR）の実証試験に向けた共同研究の開始について

2021年6月4日

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構
株式会社 INPEX

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（理事長：細野 哲弘、本部：東京都港区、以下 JOGMEC）及び、株式会社 INPEX（社長：上田 隆之、本社：東京都港区、以下 INPEX）は、本年4月より、INPEX 南阿賀鉱場（新潟県阿賀野市）における二酸化炭素（CO₂）を用いた原油回収促進技術（EOR）（注1）のための実証試験に向けた共同研究を開始いたしましたので、お知らせいたします。

この試験は INPEX 南阿賀油田において、現在開発中の CO₂ EOR 効率改善技術（CO₂ フォーム技術（注2））を用いて地下に残留した原油の回収促進効果の実証を目的とするものです。また、原油回収後、CO₂ の一部は地下に残留するため、温室効果ガスの一つである CO₂ 削減効果についても検証することを予定しております。

今後、詳細試験計画策定などの準備作業を進め、2022年には新規に坑井を2坑掘削し、実証試験を実施する予定です。本実証試験を通して原油回収促進技術の開発ならびに適用促進を図り、将来的には、海外油ガス田での技術展開につなげてまいります。

（注1） CO₂ を地下に圧入することで、原油回収率を向上させ、生産量を増加させる技術。CO₂ 圧入による CO₂ の削減効果と原油回収促進による経済効果の両立を狙うもの。

（注2） CO₂ EOR による原油回収率向上のため、CO₂ をフォーム化（水と混合し CO₂ の泡を形成させる）して見かけ粘性を向上させることにより、CO₂ により油層を均一に掃攻する技術。

JOGMEC 及び INPEX は、引き続きエネルギー開発・安定供給の責任をはたしつつ、2050年ネットゼロカーボン社会の実現に向けたエネルギー構造の変革に積極的に取り組むとともに、本実証試験を通し、上流事業における原油回収促進ならびに CO₂ の排出削減に寄与する技術開発を推進してまいります。

【本件に関する問い合わせ先】

・独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

担当：石油天然ガス開発技術本部 末廣

TEL：03-6758-8671

・株式会社 INPEX

担当：経営企画本部 広報 IR ユニット 広報グループ 三谷・森

TEL：03-5572-0233

以上